

昭和48年1月13日第三種郵便認可

HSK通巻521号

発行日/2015年8月10日(毎月10日発行)

編集人/白老町手をつなぐ育成会 佐藤春光

北海道白老郡白老町字萩野 310-110

TEL (0144) 83-3537

会報/227

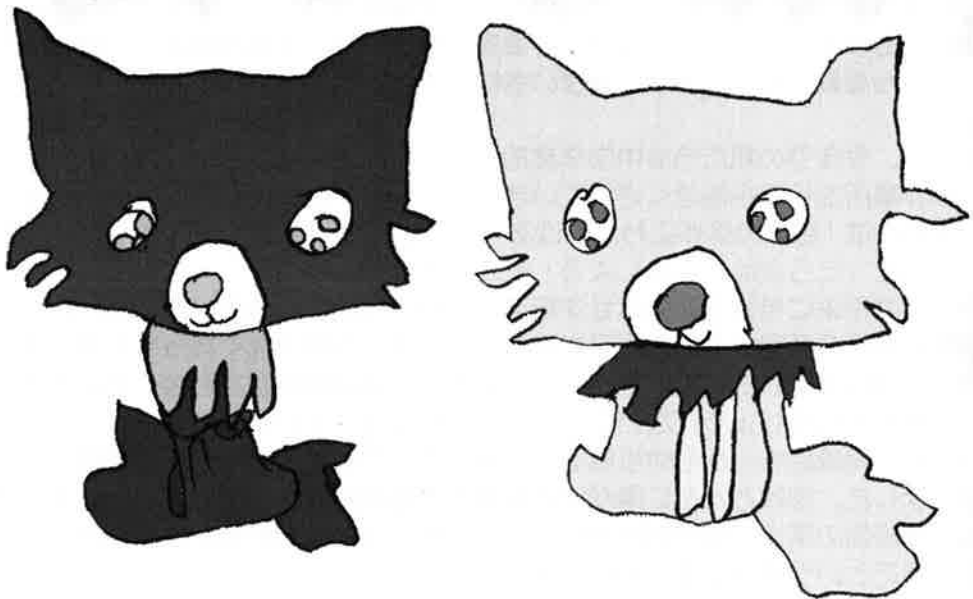
発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)

定価/1部100円(会費に含む)

HSK

2015. 8月号

# ほほえみ



シロ見田智子

白老町手をつなぐ育成会

# 18年前の私たちの決意

机の回りを整理・整頓していたところ（笑）、18年前手をつなぐ育成会全道大会に発表したレポートが出てきました。その中に私たちが目指した育成会と作業所の決意が書かれていました。小規模作業所を出発させたばかりで、社会福祉法人などはもっとずっと先と思っていた頃ですが『志』だけはどんな大きな事業所にも負けないものお持ちしていました。

今、社会福祉法人となり11年目を向え、登別に新しい事業所も開設し、職員も利用者も増えてきています。いつの間にか初心が十分に継承されていない今を感じます。

そこで、あえて再録させてもらいます。後援会員の皆さんも、社会福祉法人ホープがただの施設になったと感じたなら、激を入れてください。ホープがホープであり続けるためにはみなさんの監査が必要なのです。

## 【 前略 】

### 2、育成会の作業所の必要性

白者には障がい者の施設や作業所が4か所ありました。しかし、それぞれに間口があり条件があります。入所型の施設を希望しても間口が開いていなければ入所できませんし、作業所も長時間働けることや、身辺自立が条件になっています。もちろん間口は同じようにあります。どんなに障がい者が重度であっても、家族が白者と一緒に暮らしたい・・・そんな親の願いは地域の障がい者に対する理解が進む中でより強くなってきました。

しかし、今までの親たちは中学卒業期もしくは高校卒業期に、わが子の進路で悩み、施設や作業所巡りを余儀なくされていました。親や子に様々な希望があっても、まず頭をよぎるのは「施設の条件にわが子はあっているのか、定員はどうなっているのか」「ここがダメだったら次はどこにしよう」そんな不安でした。

白者では将来に希望を見いだせず転居したり、転職した親もいました。出口をさがして必死になり会員同士もバラバラになり、わが子しか見えなくなってしまいました。ですから、高校入学や施設入所を機にほとんどの会員は育成会を脱会していきまし、他の会員もそれをしょうがないことのように受け取っていました。

5年前、育成会を一からやり直そうと再出発した時、私たちは一人の親からの脱皮を決意しました。地域とともに障がい者を育てる育成会になること・・・そして、そのためには施設の条件に振り回されない、子どもの状態に合わせた作業所がこの白者に一つは必要だという結論に達したのです。

そういう作業所があつてこそ、親は安心して長い目でわが子を見ることができ、文字通り作業所を選択できるようになるのだと思います。

### 3、共同作業所フロンティアの目標

①どんなに障がい者が重度であっても、自宅で息を潜めて暮らす障がい者をなくする作業所

（入所希望者の条件は問わない。）

②障がいにあつた作業を開拓する作業所

（作業に所員を合わせるのではなく、所員に合わせた作業の開拓）

③生産性を追求するのではなく、障がい者の生活自立を目指す作業所

（生産性の代わりに、会員と後援会員の知恵と力を付加価値とする。）

④生活自立できるだけの賃金を、全ての所員に支払える作業所  
(障がい者年金と合わせて)

⑤町民と力を合わせて、全国に元気いっぱいの信号を発信する作業所  
(会報を毎月1000部発送する))

ちょっと高い目標だけれど、こんな目標を立てたのは、歩きながら考え、考えながら歩いてきた作業所作りを通してでした。この旅立ちをしたおかげで、多くの方々の数えきれない善意を知ることができました。

そんな時、『もし私たちが逆の立場にいたとしたら、私たちはその人たちのように手をさしのべたでしょうか』『ほとんど見ず知らずの人たちに、そんな善意を示すことがあったでしょうか』

私たちがこんなにも暖かい多くの善意に返せるものがあるとしたなら、それは白老だからできる全国一の作業所を創ることではないのか。そして、その信号を全国に送り続ける事により、全道・全国で頑張っている仲間たちを激励することができれば、…。そのことが私たちを応援してくれている善意を最も生かす道だと考えたのです。

【 中略 】

手をつなぐのは私たちです。まず自らが手をつなぐ思想を持ち続ける事です。ともすると自分の足許しか見れなくなったり、ついガードを固くして相手の差し伸べた手を振り払ってしまいそうになる自分との闘いを抜きに、手をつなぐ親の会の目的を達成するのは難しいと思うのです。手をつなぐ思想を持ち続ける事ができるならば、必ず明るい未来につながる事を信じて今後も歩き続けたいと私たちは思っています。

## 平和であってこそ人間は人間らしい人生を送ることができる

戦後70年、日本は大きな曲がり角にさしかかっています。「積極的平和主義」という戦争を可能とする理屈が日本を覆い始めているのです。今年は先の戦争が終わって70年になります。

70数年前の日本は、アジアの平和を唱えて戦争を始めました。その戦争によって全ての日本国民のが不幸になり、近隣諸国の多くの国民も不幸になりました。戦争はどんな理屈をつけても、人と人が殺し合うことです。イランやアフガンでの戦争から帰還した米兵の多くが自殺したり心に病を持ってしまいます。『安全・安心』と言われた地域に派遣された自衛隊員にも同じようなことがおきています。人と人が殺し合う現場にいて、もし平気な人がいるとしたなら、その人もまた病気と言えるでしょう。

戦争が始まる時、障がい者は社会から廃除され抹殺されます。さらに戦争はたくさんの障がい者を作り出します。障がい者にとっても健常者にとっても、平和であってこそ人間らしい生き方が認められるのです。

## 第60回手をつなぐ育成会全道大会北広島大会

今年度の全道大会は北広島市で行われました。初めて石狩管内の市と育成会が手をつないで開催しました。大成功でした。現地の皆さんご苦労さんでした。



ふろんていあ♡メール

Frontier

就労支援施設  
フロンティア♡MAIL

2015年8月号

〒059-0922  
白老町萩野 310-110  
TEL・FAX 0144-83-3537



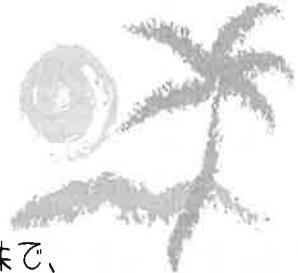
リニューアル  
のシュークリーム

お待たせ  
しました

お待たせしました！フロンティアのシュークリームが新しくなって復活しました。

いつも外販等でシュークリームは無いの？  
との問い合わせを頂いておりましたが、  
フロンティアは今年の夏、シュークリームを  
リニューアルし戻ってまいりました。

札幌にある老舗菓子店パール・モンドール直伝の味で、  
多少小ぶりではありますが、クリームがビッシリ詰まった  
美味しいシュークリームを是非ご賞味下さい。



## 残念ながら…… !!

残念な事に長年フロンティアに尽くしていただいた坂東道子さんが7月31日をもちまして退職されました。

利用者も職員もいつも笑顔にしてくれていた坂東さん、健康の相談も沢山聞いていただきました。いなくなる事は大変残念ですが、私達フロンティアは坂東さんをいつでも歓迎します。いつでも遊びに来て下さい！

今迄大変お世話になりありがとうございました。お疲れ様でした。

## ホープ初の大運動会

来月9月19日(土)はナチュラルサイエンスさんのご好意で旧虎杖中学校体育館を貸していただけるので社会福祉法人ホープ初の「大運動会」が行われます！  
みんなで力を合わせて頑張りよう！！

告知



# 今が最盛期カレンデュラ



フロンティアでは今、施設外就労のひとつでありますナチュラルサイエンスさんのカレンデュラの花切り→花干し→花びら取り→乾燥を行っているのですが、人手も、干す場所も足りないくらいに花が満開！！しかも今年は去年の3倍もの花を植えたのですからそりゃあ～花も多いよね……。

花を切っても切っても次々と花が咲き、干しても干しても白老町の湿気で乾かず、追いつかず、でも乾いた物から花びらをひとつひとつ丁寧に花びらだけを手で取るという作業を行っています。

フロンティア総出と言っても過言じゃないほど、A班・B班・C班・生活介護・フロンティア登別の利用者・職員みんなで、花びらを取っています。花びらを取った後に不純物を取り除く作業が花びらを取るよりも、時間がかかってしまい大変な作業です。でも、みんな花びら取りをしている時だけはもの凄く集中しているのか、全員無口で静かすぎてビックリ！！

皆さん暑い中毎日ご苦労様です。もう少しみんなでがんばりましょう。

## カレンデュラ花取り隊のメンバーです



いきいきと楽しく働く場をめざして

2015年8月号

# フロンティア登別通信

〒059-0463

登別市中登別町88-2

TEL/FAX

0143-83-7878

## 新商品!!冷凍「鹿肉ギョウザ」 安心してください。美味しいですよ。

さてさて、鹿バーグに続いてフロンティア登別オリジナル商品第2弾が発売されます。ハンバーグの次は、なんと冷凍ギョウザです。鹿肉のしっとりした肉の質感を活かした逸品です!!

とにかく明るいフロンティアの施設長さんも「鹿肉はちょっと…という方も是非試していただきたい。安心してください。美味しいですよ。」と太鼓判を押している自信作です。

フライパンに多めの油（特にオリーブオイルまたはごま油がおすすめ）を引き冷凍ギョウザを並べ強火で加熱し、程よい焦げ目がついたら6コあたり大さじ一杯の水を入れ蒸し焼きにし、水分が飛んだら美味しいギョウザの出来上がりです。焼き方のコツは蒸し焼きの水を少なめにすることです。鹿肉から出る汁が香味野菜と絡み合いジューシーなギョウザに仕上がります。お盆明けの発売に向けて準備中です。



18個入り800円(税込)です。  
一口サイズの食べやすい形。  
北海道産小麦100%使用の  
モチモチ食感の皮を使って、  
小さくても食べ応えのある  
ギョウザに仕上がっています。  
鹿肉のうま味を活かした一品  
です。  
是非ご賞味下さい!

# GENKIYA 御一行様来訪

7月18日(土)に旭川より社会福祉法人あかしあ労働福祉センターGENKIYA のみなさんが施設見学と利用者交流でフロンティア登別を訪問してくれました。利用者同士で質問しあったり交流を深めるとともにカフェウポポ特製の「鹿肉ザンギ&ポテトセット」やソフトアイスなどをたくさん買っていってくれました。

29日には室蘭養護学校の先生方が見学研修にいらっしゃったり、フロンティア登別にたくさんの方が来訪されています。



## フロンティア登別の仲間が 徐々に増えてきています。

4月に開所してはや、4か月が過ぎました。最初は13人の利用者からの出発でしたが新しい仲間も増え16人がフロンティア登別に通っています。

最初は静かだった作業所も少しずつ賑やかに活気が出てきた感じです。様々なきっかけでフロンティア登別という「働く場」つながった仲間たちですが、いきいきと楽しく働ける場として発展していければと思っています。

最後に6月号で呼びかけに承えていただきたくさんのタオルなどの衛生用品がフロンティア登別に届きました。本当にありがとうございました。



## HSK ほほえみ

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可  
発行日 2015年8月10日発行(毎月10日発行)  
HSK通巻番号521号  
編集人/北海道白老郡白老町萩野310-110  
白老町手をつなぐ育成会 佐藤 春光  
TEL 0144-83-3537  
会報/227号  
発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)  
定価/1部100円(会費に含む)